

業務名（業務コード）		搬出確認登録（輸入保税蔵置場）輸出情報登録（EXR02）																			
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	繰1	繰2	条件												コード	入力条件／形式
1		入力共通項目		an	398			M													
2		搬出先保税蔵置場		SMW	an	5		M												保税地域コード	(1) 搬出区分が「H」、「M」、「B」または「O」の場合は、「ZZZZZZ」を入力 (2) 「T」または「R」の場合は、保税運送承認済みの運送先であること (3) 仮陸揚貨物の場合で、搬出元保税蔵置場が航空会社保税蔵置場の場合は、航空会社保税蔵置場または空港保税蔵置場以外の入力は不可 ※搬出区分の詳細は搬出区分欄を参照
3		積込港		PSB	an	3		C												IATA空港コード	(1) 入力者が航空会社または空港地区内の保税蔵置場で、かつ所属する空港との関連がシステムに設定されている場合は、入力省略可能 (2) 「Z△△」の場合は、以下のいずれかの搬出区分が入力されていること 「スペース」、「J」、「T」、「H」 (3) 「G△△」の場合は、以下のいずれかの搬出区分が入力されていること 「スペース」、「J」 (4) 省略した場合は、以下のいずれかの搬出区分が入力されていること 「スペース」、「J」、「T」、「R」、「M」、「B」、「O」 (5) 所属する空港との関連がシステムに設定されていない場合は、以下の搬出区分が入力されていないこと 「スペース」、「J」、「T」 (6) システム内の積込港の場合は、以下のいずれかの搬出区分が入力されていること 「スペース」、「J」、「T」 スペース：入力省略 Z△△：システム外積貨物で積込港が不明 G△△：許可済積込港が混在 ※搬出区分の詳細は搬出区分欄を参照
4		搬出区分		OSB	an	1		C													(1) 航空会社から航空会社への運送の場合は、「T」または「R」であること（ただし、搬出先保税蔵置場は輸出申告可能保税蔵置場であること） (2) 航空会社から保税蔵置場への未許可貨物の運送の場合は、「R」であること（ただし、搬出先保税蔵置場は輸出申告可能保税蔵置場であること） (3) 仮陸揚貨物の運送の場合は、搬出区分はスペースまたは「T」であること (4) 空港保税蔵置場から空港域外の保税蔵置場への仮陸揚貨物の運送の場合は、搬出区分はスペースであること スペース：通常搬出 J：自社運送 T：保税運送（仮陸揚貨物） R：保税運送（積戻し貨物） H：携帯貨物 M：滅却 B：亡失 O：その他
5		時間外搬出表示	T00	an	1			C													O（オー）：時間外搬出
6		トラック番号	TRK	an	5			C													
7		請求先	SEI	an	5			C													(1) 蔵置情報に出力する請求先を入力 (2) 請求先が不明等の場合は、任意の体系で入力
8		強制表示		KYH	an	1		C													(1) 搬出先保税蔵置場がAWB発行航空会社以外の場合は、「F」を入力 (2) 積込港はIATA空港コードであること ※積込港の詳細は積込港を参照
9		輸出AWB番号	AWB	an	20			M													
10		搬出個数	OPS	n	6			M													(1) 搬出可能な個数を入力 (2) バラ個数を入力